

# 上級アドヴァンスト・コース 募集要項

## 41 オペラ・ソリスト・コース

**教育目標** 歌唱能力のみならずオペラ歌手に必要な舞台表現技術を身につけ、多数のオペラの配役を演じられるように、オペラ歌手となるための基本的な知識や能力を養う。

授業科目	履修費ランク	セメスター				修得単位最低数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	オペラ特別演習V	A	2			16	イタリア語、ドイツ語はIVまで、フランス語はIIまで未履修者
	オペラ特別演習VI	A		2			
	オペラ特別演習VII	A			2		
	オペラ特別演習VIII	A			2		
	声楽特別演習V	A	2				
	声楽特別演習VI	A		2			
	声楽特別演習VII	A			2		
	声楽特別演習VIII	A			2		
	レパートリー研究I	B	2				
コース推薦	レパートリー研究II	B		2			
	レパートリー研究III	B			2		
	レパートリー研究IV	B			2		
	オペラ史A	C	2				
	オペラ史B	C	2				
	声楽実技AV	B	1				
	声楽実技AVI	B		1			
	声楽実技AVII	B			1		
	声楽実技AVIII	B			1		
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクション	B	2	2	2		
	身体表現A	B	1				
	身体表現B	B	1				
	身体表現C	B			1		
	身体表現D	B			1		
	合唱V	C	2				
	合唱VI	C		2			
	宗教入門A	C	2				
	宗教入門B	C	2				
	西洋宗教史A	C	2				
	西洋宗教史B	C	2				

修了認定基準 「オペラ特別演習VIII」の評価A以上

- 募集人数** 若干名
- 出願資格** 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。
- 出願期間** 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30
- 出願手続** 出願料を経理課窓口に直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]
- 出願書類**
  - アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
  - 写真2枚 3×3cm
  - 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)
- 出願料** 10,000円
- 試験科目及び課題曲**

声楽演奏試験  
オペラのアリア2曲(モーツアルトのアリアを含むこと)  
原語・原調を原則とする。途中で切ることがある。

※アルトでモーツアルトの適当なオペラのアリアがない場合は、グルック作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチエ」よりオルフェオのアリアでもよい。

※受験者が本学学部4年生の場合、伴奏者は本学在学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。それ以外の受験者はこの限りではない。
- 試験日** 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内
- 合格発表** 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板  
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかつた場合には、合格を取消す。
- 合格後の手続** 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

# 上級アドヴァンスト・コース 募集要項

## 42 歌曲ソリスト・コース

**教育目標** 歌曲やオラトリオを歌うために必要な技術はもちろんのこと、詩の解釈、ことばへの豊かな感性を磨き、演奏家となるためのより高度な技術、知識や能力を養う。

授業科目	履修費ランク	セメスター				修得単位最低数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	声楽特別演習V	A	2			8	
	声楽特別演習VI	A		2			
	声楽特別演習VII	A			2		
	声楽特別演習VIII	A			2		
コース推薦	歌曲作品研究A	B	2				<p>1セメスターに1科目のみ履修</p> <p>イタリア語、ドイツ語/フランス語ディクション</p> <p>身体表現A</p> <p>身体表現B</p> <p>身体表現C</p> <p>身体表現D</p> <p>合唱V</p> <p>合唱VI</p> <p>宗教入門A</p> <p>宗教入門B</p> <p>西洋宗教史A</p> <p>西洋宗教史B</p>
	歌曲作品研究B	B	2				
	歌曲作品研究C	B	2				
	歌曲作品研究D	B	2				
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習 I	B	2				
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習 II	B		2			
	宗教音楽史A	C	2				
	宗教音楽史B	C	2				
	歌曲史A	C	2				
	歌曲史B	C	2				
	声楽実技AV	B	1				
	声楽実技AVI	B		1			
	声楽実技AVII	B			1		
	声楽実技AVIII	B			1		
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクション	B	2	2	2		
	身体表現A	B	1				
	身体表現B	B	1				
	身体表現C	B		1			
	身体表現D	B			1		
	合唱V	C	2				
	合唱VI	C		2			
	宗教入門A	C	2				
	宗教入門B	C	2				
	西洋宗教史A	C	2				
	西洋宗教史B	C	2				

修了認定基準 「声楽特別演習VIII」の評価A以上

募集人数	若干名
出願資格	原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。
出願期間	平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30
出願手続	出願料を経理課窓口に直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]
出願書類	1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B) 2. 写真2枚 3×3cm 3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)
出願料	10,000円
試験科目及び課題曲	声楽演奏試験 ミサ、オラトリオ、カンタータ等の独唱曲1曲および歌曲1曲を原語で歌うこと。 曲間を含めて8分以内。途中で切ることがある。 ※受験者が本学学部4年生の場合、伴奏者は本学在学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。それ以外の受験者はこの限りではない。
試験日	11月7日(月)～11月23日(水)の期間内
合格発表	11月29日(火) 10:00 教務課掲示板 ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。
合格後の手続	合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。 また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

# 上級アドヴァンスト・コース 募集要項

## 43 鍵盤楽器ソリスト・コース

**教育目標** 鍵盤楽器ソリスト・コース修了者、又は同等の実力のある者が更に研鑽を積み、深く音楽を追求してレパートリーの拡大を目指す。

**募集人数** 若干名

**出願資格** 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

授業科目	履修費ランク	セメスター				修得単位最低数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	ピアノ特別演習V	A	2			8	
	ピアノ特別演習VI	A		2			
	ピアノ特別演習VII	A			2		
	ピアノ特別演習VIII	A			2		
コース推奨	作曲家と作品分析 I	B	2				
	作曲家と作品分析 II	B		2			
	作曲家と作品分析 III	B			2		
	作曲家と作品分析 IV	B			2		
	鍵盤音楽史A	C	2				
	鍵盤音楽史B	C	2				
	ピアノ実技AV	B	1				
	ピアノ実技AVI	B		1			
	ピアノ実技AVII	B			1		
	ピアノ実技AVIII	B			1		
	鍵盤楽器作品分析 I	B	2				
	鍵盤楽器作品分析 II	B		2			
	現代音楽入門 I	B	2				
	現代音楽入門 II	B		2			
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習 I	B	2				
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習 II	B		2			
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習 III	B			2		
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習 IV	B			2		

**修了認定基準** 「ピアノ特別演習VIII」の評価A以上

**出願期間** 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

**出願手続** 出願料を経理課窓口に直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

**出願書類**

- アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
- 写真2枚 3×3cm
- 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

**出願料** 10,000円

**試験科目及び課題曲** ピアノ演奏試験  
下記の各グループより選曲し、実際の演奏時間が35分以上となるプログラムを提出する。ただし(1)あるいは(2)のみのプログラムは不可。

(1)ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェンのソナタより任意の一曲(全楽章)  
(2)上記以外の作曲家による任意の作品(同一の作曲家による複数の作品、あるいは複数の作曲家の作品の組み合わせも可。ただし、出版されているものに限る。また、内部奏法等を含んだ作品は除く。)

(注) 1. 演奏は暗譜とする。  
2. 繰り返しの有無は各自の自由とする。  
3. 時間の都合によりカットすることがある。

**試験日** 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

**合格発表** 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板  
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。

**合格後の手続** 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

# 上級アドヴァンスト・コース 募集要項

## 44 アンサンブル・ピアノ・コース

**教育目標** アンサンブル奏者としての経験と知識を増やし、豊かな表現力を身につける。

授業科目	履修費ランク	セメスター				修得単位数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	アンサンブル特別レッスンⅠ	B	2			8	
	アンサンブル特別レッスンⅡ	B		2			
	アンサンブル特別レッスンⅢ	B			2		
	アンサンブル特別レッスンⅣ	B			2		
コース推奨	アンサンブル演習Ⅰ	A	2				イタリア語・ドイツ語・フランス語の いずれか1ヶ国語を選択
	アンサンブル演習Ⅱ	A		2			
	アンサンブル演習Ⅲ	A			2		
	アンサンブル演習Ⅳ	A			2		
	ピアノ実技AV	B	1				
	ピアノ実技AVI	B		1			
	ピアノ実技AVII	B			1		
	ピアノ実技AVIII	B			1		
	室内楽作品研究A	B	2				
	室内楽作品研究B	B	2				
	管楽器作品研究	B	2				
	弦楽器作品研究	B	2				
	歌曲作品研究A	B	2				
	歌曲作品研究B	B	2				
	歌曲作品研究C	B	2				
	歌曲作品研究D	B	2				
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクションⅠ	B	2				
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクションⅡ	B		2			
	選択ソルフェージュEⅠ	B	1				
	選択ソルフェージュEⅡ	B		1			
	管弦楽法CⅠ	B	1				
	管弦楽法CⅡ	B		1			

修了認定基準 「アンサンブル特別レッスンⅣ」の評価A以上

**募集人数** 若干名

**出願資格** 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

**出願期間** 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

**出願手続** 出願料を経理課窓口に直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

- 出願書類**
- アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
  - 写真2枚 3×3cm
  - 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

**出願料** 10,000円

- 試験科目及び課題曲**
- 器楽または声楽との共演による演奏試験(共演者を同伴すること)  
自由曲 10分程度
  - アンサンブル・ピアノ・コース単願者のみ、ソロ自由曲6分～12分程度の演奏試験(他の鍵盤楽器コース併願者は免除とする)

**試験日** 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

**合格発表** 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板  
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかつた場合には、合格を取消す。

**合格後の手続** 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

# 上級アドヴァンスト・コース 募集要項

## 45 弦管打楽器ソリスト・コース

**教育目標** コンチェルトをはじめとするさまざまなジャンルの演奏技術、解釈を学び、それぞれの楽器のソリストに必要なレパートリーを身につけ、オーケストラをはじめとする各種オーディションの合格、国内外のコンクールに入賞するための演奏能力を身につける。

授業科目	履修費ランク	セメスター				修得単位数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	弦管打特別演習V	A	2				
	弦管打特別演習VI	A		2			
	弦管打特別演習VII	A			2		
	弦管打特別演習VIII	A				2	
	管弦楽A	B	2				
	管弦楽B	B		2			
	管弦楽C	B			2		
	管弦楽D	B				2	
	管弦楽特別演習A	B	2				
	管弦楽特別演習B	B		2			
	管弦楽特別演習C	B			2		
	管弦楽特別演習D	B				2	
	吹奏楽A	B	2				
	吹奏楽B	B		2			
	吹奏楽C	B			2		
	吹奏楽D	B				2	
	室内楽史A	C	2				
	室内楽史B	C	2				
	管弦楽史A	C	2				
	管弦楽史B	C	2				
	室内楽A	B	2				
	室内楽B	B		2			
	室内楽C	B			2		
	室内楽D	B				2	
	弦管打実技AⅤ	B	1				
	弦管打実技AⅥ	B		1			
	弦管打実技AⅦ	B			1		
	弦管打実技AⅧ	B				1	
	管弦楽法B I	B	1				
	管弦楽法B II	B		1			
	室内楽作品研究A	B	2				
	室内楽作品研究B	B	2				
	管楽器作品研究	B	2				
	弦楽器作品研究	B	2				
	上級アンサンブルA	B	2				
	上級アンサンブルB	B		2			
	上級アンサンブルC	B			2		
	上級アンサンブルD	B				2	
	オーケストラ・スタディI	B	2				
	オーケストラ・スタディII	B		2			
	オーケストラ・スタディIII	B			2		
	オーケストラ・スタディIV	B				2	

修了認定基準 「弦管打特別演習VIII」の評価A以上

**募集人数**

若干名

**出願資格**

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

**出願期間**

平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

**出願手続**

出願料を経理課窓口に直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

**出願書類**

1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)

2. 写真2枚 3×3cm

3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

**出願料**

10,000円

**試験科目及び課題曲**

弦管打演奏試験

別記「課題曲一覧表」参照

**試験日**

11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

**合格発表**

11月29日(火) 10:00 教務課掲示板

ただし、卒業見込みの者が卒業できなかつた場合には、合格を取消す。

**合格後の手続**

合格者は、手続要項に従つて決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

管打は選抜者のみ  
履修を許可された者のみ履修可  
管打、コントラバス、ハープ履修可  
弦のみ履修可

## &lt;課題曲一覧表&gt;

**5. 弦管打楽器ソリスト・コース**

- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は応募者が同伴すること。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。但し、試験当日に演奏楽章を指定したり、演奏を中断することもある。

**【ヴァイオリン】**

- A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。
- ※ 平成28年度国立音楽大学卒業見込者は、卒業試験曲目と重複しないこと。

**[A群]**

- J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番より フーガ  
 J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番より フーガ  
 J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番より シャコンヌ

**[B群]**

- ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61より 第1楽章  
 (ヨアヒム又はクライスラーのカデンツア)  
 ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77より 第1楽章  
 (ヨアヒムのカデンツア)  
 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35より 第1楽章  
 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47より 第1楽章  
 バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番より 第1楽章

**【ヴィオラ】**

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

- 1 ブラームス：ヴィオラ・ソナタ へ短調 作品120-1
- 2 ブラームス：ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品120-2
- 3 ヒンデミット：ヴィオラ・ソナタ へ調 作品11-4

**【チェロ】**

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

**[A群]**

- J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第2番～第6番より 任意のプレリュード  
 [B群]  
 ハイドン：チェロ協奏曲 第1番 ハ長調より 第1楽章  
 ハイドン：チェロ協奏曲 第2番 ニ長調 作品101より 第1楽章  
 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104より 第1楽章  
 シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品129より 第1楽章  
 エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 作品85より 第1・2楽章

**【コントラバス】**

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

- 1 クーセヴィツキー：コントラバス協奏曲
- 2 ヴァンハル：コントラバス協奏曲 ニ長調
- 3 ディッタースドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調

**【ハープ】**

(1)を1曲及び(2)より1曲の計2曲を暗譜で演奏する。

- 1 5分程度の古典曲 (C.P.E.バッハ作曲『ソナタ』の1楽章、ヘンデル作曲『協奏曲』の1楽章、J.S.バッハ作品のルニエ編あるいはグランジャニー編等)
- 2 ①フォーレ：アンブロンプチュ  
 ②サルツェード：古代様式の主題による変奏  
 ③ルニエ：レジェンド  
 ④ダマーズ：シチリア変奏  
 ⑤ヒンデミット：ソナタ  
 ⑥グランジャニー：ラプソディー

## 【フルート】

(A) (B) (C) の3曲を暗譜で演奏する。(曲目の演奏順は自由)

(A) 次の課題曲 (1) ~ (7) から1曲を選択して演奏する。

(1) E.ボザ : Image

(2) J.イベール : Pièce

(3) P.O.フェルー : Trois Pieces-III

(4) S.カルク-エラート : 30 Studies Op.107 No.30 Chaconne

(5) S.カルク-エラート : Sonata (Appassionata) fis-moll Op.140

(6) N.パガニーニ : 24 Caprices Op.1-24

(7) J.リヴィエ : Oiseaux Tendres

(B) T.ベーム、J.ドゥメルスマント、F.ドップラー、M.A.ライヒエルト、P.タファネルのうちから伴奏付きの作品を1曲自由選択

(C) 上記 (A) (B) の作曲家以外の自由曲1曲 (但し、ピアノ伴奏付きの曲)

## 【オーボエ】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

モーツアルト : オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314

## 【クラリネット】

次の課題曲 (1)、(2) のうち任意の1曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

(1) モーツアルト : クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622

(2) ドビュッシー : クラリネットのための第一狂詩曲

## 【サクソフォーン】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

グラズノフ : サクソフォーン協奏曲

## 【ファゴット】

次の課題曲 (1)、(2) のうち任意の1曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

(1) モーツアルト : ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191

(2) ウェーバー : ファゴット協奏曲 へ長調 作品 75

## 【ホルン】

次の課題曲 (1)、(2)、(3) のうち任意の1曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

(1) モーツアルト : ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調 K.417

(2) R.シュトラウス : ホルン協奏曲第1番 変ホ長調

(3) ノイリンク : バガテル

## 【トランペット】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

J.ハイドン : トランペット協奏曲 変ホ長調

## 【トロンボーン】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

テナートロンボーンの場合

トマジ : 協奏曲 第1楽章

バストロンボーンの場合

ギリンガム : ソナタ 第1楽章

## 【ユーフォニアム】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

J.ホロヴィッツ : 協奏曲 (Novello )

## 【チューバ】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

R.ヴォーン・ウィリアムズ : チューバ協奏曲 (Oxford University Press )

## 【打楽器】

次の課題曲 (1)、(2) のうち任意の1曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の2曲を暗譜で演奏する。

(1) ジョリヴェ : 打楽器とオーケストラのための協奏曲

(2) 次の①②を両方演奏する。

①クレストン : マリンバとオーケストラのための協奏曲

②デルクルーズ：12のエチュード（小太鼓のための）

\*②は1～4の中から当日1曲指定。

\*②に限り暗譜は任意とする。